



市民の健康をおもむく

幸齢社会の実現をめざして

～誰もが大府に暮らし、幸せを実感できるまち～



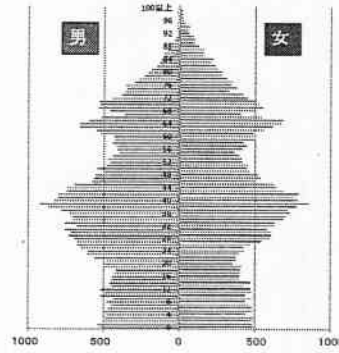
大府市長 久野孝保

面積	33.68km ²
総人口	88,550人 (H26年4月1日現在)
高齢者数	17,354人(19.6%)
後期高齢者	7,183人(8.1%)
認知症者	2,479人(推定)
人口増減率	6.21% (国勢調査: 22年と17年と比較)

大府市 「みんな輝き 幸せを感じる 健康都市」
Welcome to GREAT CITY

1. 大府市の人口ピラミッド

平成25年4月1日現在

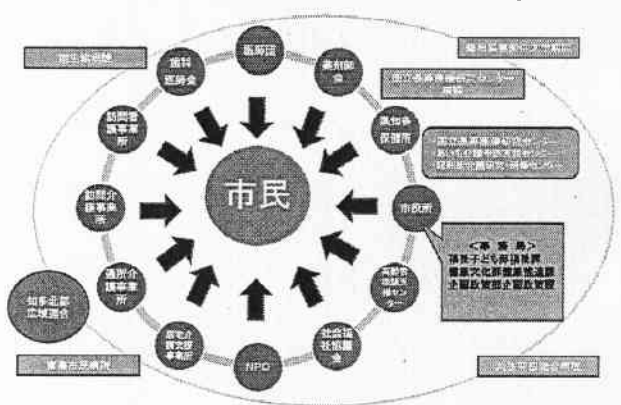


1. 団塊の世代よりも団塊Jr.の方が多い。
2. 2025年よりもその後の2050年に更なるピークの到来が予想される。
3. 2050年には下支えとなる世代の人口が少ないため、より強固な体制が必要となる。

2. 市内医療・介護資源マップ



3. 大府市の在宅医療の組織図



4. 指定事業の分類

項目	事業名
1 多職種連携の課題の抽出と解決策の検討	在宅医療・介護連携推進会議(代表者) 課題別ワーキンググループ ○2時間制研修ワーキング ○認知症対応ワーキング 地域医療連携研究会との連携
2 在宅医療従事者の負担軽減の支援	関係機関のアンケート調査 24時間対応の在宅医療看護介護体制の情報収集と設立への支援
3 効果的で質の高い医療提供のための多職種連携	多職種連携による地域ケア会議の開催 難病研究会の開催 居宅介護支援専門員、訪問看護師等 在宅医療に従事する研修生について関係機関に情報提供し、参加を促す。
4 入居療養の確保及び家族の負担軽減に向けた取組み	長寿医療研究センターとの連携等 近隣の総合病院等の地域医療連携推進との連携・連携
5 在宅医療に関する地域住民への普及啓発活動	在宅医療に関するフォーラム パンフレット配布 パンフレット専用係り版

大府市 「みんな輝き 幸せを感じる 健康都市」
Welcome to GREAT CITY

5. 27年3月のビジョン

- ◆市民が在宅医療を身近に感じることができるよう
- ・在宅医療に関心を持つ人の増加・終を含め在宅生活を、自分で選べるまち
- ◆関係機関が在宅医療を通して、顔みえる関係となる。
- ・在宅の医師、歯科医、薬剤師数の増加 24時間体制の訪問看護・介護の増加
- ◆15か月以降も継続していける体制ができています。

6. 10年後のビジョン

「幸齢社会の実現」

～誰もが大府で暮らし、幸せを実感できるまち～

- ◆在宅医療があたりまえのまち
- ◆エンディングは自分で決めることができるまち
- ◆子どもから大人まで、誰もがかかりつけ医を持つまち
- ◆認知症・介護を予防できるまち
- ◆住み慣れた地域で暮らしていけるまち

7. まとめ

27年度以降も継続して、みんなで、市民を支える在宅医療介護をめざしています。



8. 関連事業PR

ぜひ、大府市にお越しください。

①長寿すけ愛講演会「2015 in おもむく」
 講演「のぼそ！健康寿命」 講師 さいら健康プラザ/村本直子氏
 実技「認知予防をめざした運動」 講師 国立長寿医療研究センター 森田裕之氏
 書籍「笑いは健康長寿のもと」 著者 落語家 柳家花語氏
 ◆日時:8月24日(日)13時～16時 場所:大府市勤労文化会館

②全体会議・多職種連携研修会
 講演「地域包括ケアシステムにおける在宅医療連携～地域つながりを求めて～」
 講師 豊田市 秋田裕規氏 秋田裕規氏 前川地域包括ケアセンター 田中貴孝氏
 グループワーク「在宅医療連携をより良くしていくには」
 日時:8月30日(土)15時30分～17時30分 場所:大府市保健センター
 ※研修会後市内で懇談会を実施予定

資料 5